



き

輝なんせ鳥取

2009.11
第13号



新米パパ子育て中!

鳥取市男女共同参画登録団体「子育て支援サークルすくすく」の活動より(関連記事4ページ)

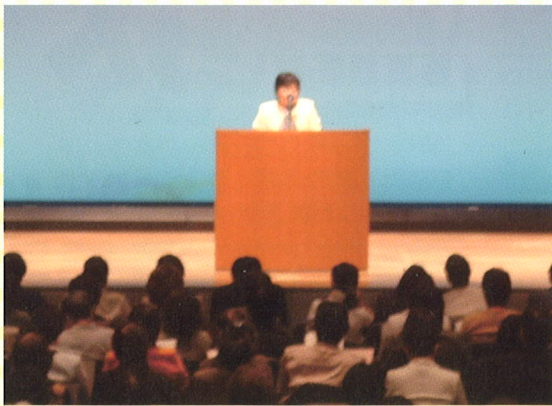
目次

- ひと女とひと男とのハーモニーフェスタ…………… 2
- 男女共同参画標語…………… 3
- 鳥取市男女共同参画登録団体紹介…………… 4
- 訪問取材“おじゃましま～ず”
「まめの会」…………… 5
- インタビューひと女とひと男
県立青谷高校校長 橋本代里子さん…………… 6

第17回

ひとひと 女と男とのハーモニーフェスタ

～あなたらしく 私らしく
ワーク・ライフ・バランス2009～



中江実行委員長による開会あいさつ

平成21年10月3日(土)、第17回女と男とのハーモニーフェスタが晴天のもとにぎやかに開催されました。

当日はキャスター・リポーター東海林のり子さんの講演をはじめ登録団体による展示・即売、男女共同参画標語の受賞作発表・表彰、岡山・姫路・鳥取の女性団体による活動報告、鳥取男声合唱団のオープニングコーラスなど内容は盛りだくさん。訪れた皆さんは展示や即売を楽しんだり、東海林さんの講演に聞き入ったりとハーモニーフェスタを存分に楽しんでおられました。



鳥取男声合唱団の見事なコーラス



来客でにぎわう展示・即売スペース



男女共同参画の標語 受賞者表彰

輝なんせ鳥取 編集委員の講演感想つれづれ記

今年の講演は、「現場の東海林です」でおなじみ、東海林のり子さんがおいでくださいました。

編集委員2名が、講演をお聴きした感想をお送りします。

東海林のり子さん講演『男女ともに輝く人生を』

二人での生活、やはり夫婦は“あうん”の呼吸…お互いに自分を見つめ、相手を認め合ってどちらともなく共同参画の生活をしている。たとえばご主人がアイロンをかけ、料理作りをされる。家庭の中でも笑うこと、これで血流がよくなる。自分のことは自分でして、一人でも生きていくという強さを持たねばならぬと締めくくられた。笑いありユーモアありの講演だった

出村編集委員

東海林さんの講演は、いかに自分の人生を楽しく生きていくかのノウハウがぎっしり詰まった内容だった。50年前は職業上の女性差別があったこと、女性特有の粘りで50年間続けて今では日本一高齢なリポーターになられたこと、東海林さんを食事作りなどで支えてくださっていたご主人が60才から落ち込んでしまったことなど大変だった出来事をさらりと言われていた。



東海林のり子さん

男女問わず相手を認め、歩み寄る大切さを教えていただいた。“笑うことが心身ともに健康の秘訣”という考えは科学データの裏づけもあって納得でき、今日から実行したい。

岸本編集委員

鳥取市男女共同参画標語

鳥取市では『男女共同参画都市とっとり』を高らかに宣言するなど『男女共同参画』を重要施策として取り組んでいます。

皆さんも、この標語を通して、学校、職場、地域、家庭から男女共同参画について考えてみませんか。

入賞作品

小中学生の部

〈最優秀賞〉

家庭や仕事 いつでも どこでも 自分らしく

〈優秀賞〉

対等な立場でめざそう 新たな社会
「一緒にしよう」勇気を出して言ってみよう

〈入選〉

お互いを 認める心 共同参画
家事に育児 外での仕事 みんなでやれば 幸せ二倍
発揮しよう 個性を生かして認め合い
みんなで参画(さんかく)視覚(しかく)
広げてまゝるい心

一般の部

〈最優秀賞〉

個性と能力を認め合う、共同参画、豊かな未来

〈優秀賞〉

認め合う 家族が支える 参画社会
お互いを認め合う職場が 未来をつくる

〈入選〉

参画で 広がる笑顔に 明日託す
男女の役割 区別なし 仕事も 家庭も 子育ても
共に築こう 共同参画で明るい未来を！
男と女 手と手とりあう 明るい未来

応募作品から編集委員が選んだ力作

小中学生の部

ともに歩もう 仕事と家庭の共同参画
絆の輪 広げていこう 参画で
育児・家事 文句言つなら手伝えよ
築き合う 明るい社会と みんなの笑顔
互いに手をとりあつて 支え合う 社会へ
参画社会 家庭も仕事も 助け合い
男女共同参画 協力すれば何でもできる
みんなが優しくなるために一言かけよう優しい言葉
力を合わせて一緒にね 男女共同参画
思いやる優しい心で男女共同参画
参画で あふれる笑顔は無量大
学校、家庭、地域 つくりだそう 共同の社会
参画で 夢や希望が あふれだす
つながろう 男女共同 輪をつくる

一般の部

半分の 力寄せ合い 大きな一画
ありがとう 素直な気持ちは 心もひかる
えがおで参画 みんなでつくる 明るい社会
なくなればいいね 男女の格差
あるといいね お互いに認めあう社会
認め合う心で築く共同参画
共同参画 理解と気づきがパスワード
男女の力を求めます よりよい社会の実現へ
やるべきこと、できること 決めつけないで 平等に
お互いに 認め合い きずなを 深めよう
家庭と仕事の両立でお互いに認め合おう男女共同参画社会
わかちあい 生まれる社会は共同参画
気付いてね 男女の役割 良いところ
たくましさ、やさしさひとつに、希望の未来(あした)
共同参画は我が家が変わり、地域が変わる
広げよう 共同参画 豊かな未来
今日の充実、あしたの希望、
みんなで作ろう ワーク・ライフ・バランス社会

『鳥取市男女共同参画登録団体』紹介

とっとりCAP

こんにちは とっとりCAPです。

CAPとはChild Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったものです。子ども達自身が人権意識を持ち、暴力から自分を守るための知識、スキル(技能)を伝える教育プログラムです。

とっとりCAPは2006年から活動しており、2008年度は子ども達に11回、大人の方に22回プログラムを届けました。

私たちの周りには多くの暴力が存在しています。子ども達の周りにも いじめ・虐待・痴漢・セクハラ・誘拐などなど暴力が存在しています

CAPでは子どもたちに誰もが持っている「安心」「自信」「自由」の大切な三つの権利を伝え、暴力によってその権利がとられそうになったらどうするかを劇や対話によって子ども達と一緒に考えていきます。

CAPプログラムは子ども達のためのプログラムですが、大人が体験しても同様に勇気づけられます。「自分もこのことを子どもの頃に知っていたかった」「大人も自分自身の権利を守るために使えると思った」などの感想をいただいています。

みなさんもこの機会にぜひ、CAPプログラムを体験してみてください。

とっとりCAP

<http://www.tottori-cap.org/>



鳥取ブラジル友好協会

当協会は、ブラジル鳥取県人会(県出身移住者の会)と鳥取県との交流を民間の立場で支援し、交流をしている団体です。会員はブラジルに縁があるか、深い関心や興味のある人たちです。昨年「日本移民百周年記念式典」に訪問団を派遣し、知事、市長と一緒に傘踊りを披露しました。今年は8月のしゃんしゃん祭に市長の招きで来鳥のブラジル連と一緒に傘踊りに参加するなど交流を深めました。今後も楽しい交流の輪を、広げていきたいものです。



輝なんせ鳥取そば打ち会

当会は、輝なんせ鳥取啓発講座「デキる! 男の料理教室 そば打ち編」受講者有志が集まって今年結成したばかりのホヤホヤの団体です。

そば打ちの技術向上を図ることはもとより、男性の家事参画の促進に努め、男女共同参画意識を高めることを目的に活動しています。月1回の定例会及び家庭で各自、家族の笑顔を楽しみにそばを打っています。男女共同参画はまず実践! みなさん、できることから始めましょう。



子育て支援サークルすくすく

こんにちは、“子育て支援サークルすくすく”です。目指すは「健全な子どもの子育て」。幼い子どもを持つ親たちが、楽しく安心して子育てできる環境づくりを目指して、平成6年に活動を始めました。子どもの健全育成にとって原点となる乳幼児期ですが、核家族・同居の家庭を問わず、育児環境は孤立化しがちです。当クラブでは、会員同士の連帯感を図り、専門スタッフによるさまざまな子育て支援活動を行うことによって、子育ての問題解決のお手伝いをしています。



鳥取市では、女性も男性もいきいきと生きられる社会の実現を目指して市内を中心に活躍されている団体やグループを支援するため、男女共同参画課登録団体制度を設けています。団体・グループの活動目的は様々でも、活動計画の中に男女共同参画にかかわる研修やPR、その他の推進事業が計画されている団体であれば、登録の対象になります。(ただし、営利、宗教、政治活動を目的とした団体等は登録の対象外となります。)

訪問取材 “おじゃましま〜す”

今回は “まめの会” を訪問しました

“まめの会” とは、若葉台地区で結成された女性の会の名前です。子育てが一段落した40～50代の女性を中心に、地域からなにか楽しいことをやってみようということで今年6月に設立されました。

その“まめの会”の訪問取材で、代表の北山裕佳利さんにお話を伺いました。

Q “まめの会” の名前の由来は。

A 「まめまめしい」という言葉から付けました。細かいことまで、まめに気を配るよようにとの思いが込められています。



北山裕佳利さん(代表)

Q こうした女性の会が結成されたきっかけは？

A 今まで若葉台には、女性だけの独立した組織がありませんでした。地域の女性たちが自分たちで何か活動をしようと思っても、受け皿がなかったのです。

そんなときに、鳥取市の女性のコミュニティ活動に対する助成金制度を知りました。そのことが背中を押してくれたと思います。

Q 構成メンバーは何人ぐらいで、どんな場所で活動していますか？

A おもなメンバーは15人ぐらいで、若葉台地区公民館での集まりを軸に活動しています。



Q どのように活動されていますか？

A 月に1、2回、日曜日の夜に公民館に一品料理を持ちよって、食べながら楽しく「企画会」というおしゃべりを情報や意見交換をしています。（「それどうやって作るの」という料理の話になってしまうこともあります…）

Q 運営上心がけていることはありますか？

A 型にはまらず、自由にやるということです。会員制にもして

ません。ちょっと気が向いたとき、都合のいいときに、気軽に参加してもらえればと思っています。

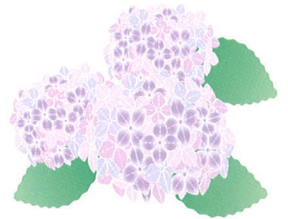
Q 今、どんなことを企画されていますか？

A まず「生活に密着した事業」として、若葉台地区文化祭（10/24）における学用品限定リサイクル事業の実施と、アジサイの花を植えて花咲く道を作る計画があります。また「いきいき女性塾」として講演



インタビューの様子
(右/太田公民館長
中央/北山代表)

会“更年期をのりきるには”の開催や女性団体との交流を企画しています。



Q 今までで「良かった」と思ったことはなんですか？

A 発足の記念事業として市長を迎え、講演会と懇親会をしました。そのときに、たくさんの方々が遅くまで懇親会に残ってくださって、とても好評だったことです。

この懇親会に参加した方が、新たなメンバーとして加わってくれ、メンバーが増えたこともよかったです。



記念講演会の様子

Q これからの抱負はなんでしょうか？

A あまりキッチリしすぎずに、自由なスタイルで活動して、地域を女性の力で元気にしたいです。

インタビューをして(By編集員)

本当に楽しそうな会で、メンバーの仲の良い様子をほほえましく感じました。

うぶ声を上げたばかりの“まめの会”。これからのご活躍をお祈りします！

ひと ひと インタビュー 女と男

鳥取県立青谷高等学校 校長 橋本 代里子さん

今の世の中、女性の校長先生は珍しくありません。でもそれは小・中学校に限った話。高等学校ではまだまだ数が少ないのが現状です。

そんな中、この春に鳥取県内では初めて女性の県立の高等学校校長に就任された、青谷高校の橋本代里子先生にお話をうかがいました。



美しく彩られた校舎壁面

青谷高校はこんな学校！

大きな特色は、総合学科であるということ。二年生からは全員が同じ科目を履修するのではなく、数多くの「選択科目」から生徒一人一人が独自に科目を選びます。

その科目は「簿記」「基礎介護」「ハンダ」「スポーツイベント企画演習」まで幅広い分野を網羅。それらを自分で選択し組み合わせることによって、生徒が自らの歩む道を自由に設計できるのです。



また、国際交流にも積極的に取り組んでいます。中国・韓国・ブラジル・台湾というバラエティ豊かな国々と、相互訪問やテレビ会議などで多彩な交流を続けています。

男女共同参画について

青谷高校では、人権ホームルームなどで共同参画を取り上げる場合があります。

選択授業に関しては「基礎介護」「家庭看護・福祉」「調理」など、昔は女性向けとされていた分野の授業を選択する男子生徒も増えていきます。

近年の生徒たちの印象としては、「女子生徒のほうが男子生徒よりも元気があるのでは」

苦労したこと

個人的には、女性であることで苦労したことは思いつきません。

女性の社会進出ということでは、校長職だけでなく女性の管理職がもっと増えてくれれば…と思います。

嬉しかったこと

校長就任を知った卒業生が、わざわざ校長室を訪ねてきてくれてお祝いしてくれたこと。

生徒の笑顔は、本当に心を暖かくしてくれます。



取材の様子



橋本代里子 校長

これからの抱負

学校として地域との連携をこれからも大切にしながら、自主性のある生徒を育てていきたいというのが抱負です。

ありがたいことに青谷高校は地域の皆さんの暖かい支えを頂いておりますので、この絆を大切にしながら、生徒一人一人が高い目標を持って健やかに歩んでいけるように力を尽くしていきたいと思っています。

県立の高等学校に初めて誕生した女性の校長先生。

その笑顔は、生徒さんたちのことを話されるときに一番輝いていました。

橋本先生、これからもがんばってください！

編集後記

青谷高校、校長先生、庶民的でしかも淡々とさすがしい先生でした。生徒さんからもお母さんの様だと親しまれている。編集委員の立場からもまさにその通りだと思った一言に尽きる。（出村）

東海林さんや北山さんのお話をうかがいながら、周りを気遣いながら一人の人間としての振る舞いが共同参画なのだ、改めて実感しました。（岸本）

き
輝なんせ鳥取
鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311
TEL (0857) 24-2704 FAX (0857) 20-3054
E-Mail danjyo@city.tottori.lg.jp
U R L http://www.city.tottori.lg.jp/

2009 鳥取・因幡の祭典
コンピネ/イナバース



ナシータ



カニーラ